

KTERC・JITI 共催セミナー「自動運転への取り組み～
ヒト・自動車交通・社会にとってのチャレンジと課題～」

開催趣旨

日米欧にて、先進的な次世代型自動車の開発・実用化に向けた取り組みの一環として、自動運転に向けた取り組みが加速度的に進められてきております。この取り組みは、IT企業の参加など、産業界のより広い範囲に及んでおり、その潜在的インパクトは非常に大きいと考えられています。

また、自動運転への取り組みは、人的事故の減少、渋滞の解消・緩和、環境負荷などの効果を、社会や人々にもたらすものとされており、同様に、高齢化が進む我が国において、自動運転への取り組み日常生活における高齢者の移動に役立つとも期待されています。さらには、過疎化が進展する中で、運行コストの圧縮が可能となれば、自動運転が公共交通ネットワークの維持に貢献する可能性もあります。

他方、自動運転の実用化は、事故時における法的責任の所在など、社会の枠組みにも大きな影響を与えるものと考えられます。加えて、機械・コンピューターに向き合うヒトの適応能力にとっても、大きな含意を持つと考えられます。

このような自動運転への取り組みに関し、我が国では、最近新聞等で取り上げられるようになってきているものの、社会や人々による一般的な認識はまだまだこれからという段階です。

こうした状況を踏まえ、関西交通経済研究センター（KTERC）と国際問題研究所（JITI）は共同で、自動運転への取り組みをテーマとするセミナーを開催することを企画いたしました。

本セミナーには、海外や我が国の関連企業幹部や学識経験者をお招きし、自動運転への取り組みの現状や将来的展望、人々や社会などに与えるインパクトなどについて御講演いただくとともに、実務有識者や自動車交通行政関係者にも加わっていただき、御討議いただくことを考えております。

本セミナーを通じて、関係者間での最新情報の共有や交流の促進、一般聴衆の方々の理解・認識の幅広い獲得を実現し、世の中における関心と議論の喚起に貢献していきたいと考えております。

プログラム

日時：2013年10月21日（月）午後2時～5時50分（レセプション6時～）

開催場所：大阪（ヒルトン大阪：「桜の間」）

開催者：関西交通経済研究センター（KTERC）・国際問題研究所（JITI）

参加者：150人

言語：英語・日本語（同時通訳付き）

プログラム（講演テーマは暫定）

14：00 開会挨拶 野村明雄 KTERC 会長（5分）

14：05 セミナーの背景・趣旨・概要説明 鷲頭誠 JITI 所長（15分）

14：20 ロナルド・メッドフォード氏 グーグル ディレクター（安全性・自動運転自動車担当）（30分）

「なぜ私たちは自動運転自動車が必要なのか？」

14：50 金光 寛幸氏 トヨタ自動車株式会社 制御システム先行開発部 第3制御システム先行開発室長；IT・ITS企画部 主査（30分）

「高度運転支援システムのための車の自動化技術」

15：20 コーヒーブレイク（15分）

15：35 ブライアン・リーマー博士 マサチューセッツ工科大学 研究員（30分）
「自動運転自動車への道筋：ヒトの能力と先進自動車システムの間の断絶？」 ※ビデオでのプレゼンテーション

16：05 ブライアント・ウォーカー・スミス氏 スタンフォード大ロースクール フェロー（30分）

「合理的な自動運転自動車の進展」

16：40 パネルディスカッション（60分）

モデレーター：川原英司 氏 A.T.カーニー株式会社 パートナー

パネリスト（計4名）：上記講師（3名）及び

久保田秀暢 氏 国土交通省 自動車局技術政策課
技術企画室長

17：50 閉会

18：00－19：30 レセプション